

学ぶことの幅が広がる

内川レオナさん 明科中1年

英語の授業でクラスみんなの進み具合に目を配ってもらいました。私は途中でスペルを教えてくださいました。たくさん大人の学校に入ってもらえば、学ぶことの幅も広がると思います。



知らないことをたくさん教わった

渡邊琉一さん 豊科南小5年

お米作りをやってみて、とても大変だと思いました。手で刈って、縛って、干した収穫の 때가特に大変でした。お手伝いに来ていただいて、分からない事や知らない事をたくさん教えてください、とても助かりました。



やさしいおばちゃん

等々力優衣さん 穂高南小1年 (右から2番目)

絵本が大好きです。おばちゃんたちはやさしい。面白い本を読んでもらって、とても楽しかったです。また、来てくれるといいな。



地 域と学校のパイプ役、地域コーディネーター。穂高北小学校のコーディネーターを務める内山房子さんに、学校支援ボランティアの活動の魅力について聞きました。

子どもたちに残せるものがあります。

「ご自身も、「わいわいランド」やお話の会で、学校とかかわってらっしゃいますね。」

私は長い間、保育の仕事に携わってきました。退職を機に違うことを始めようかとも思いましたが、子どもとのかかわりを最後まで私自身の生きがいのようにと考え、児童館や学校のボランティアに加わりました。

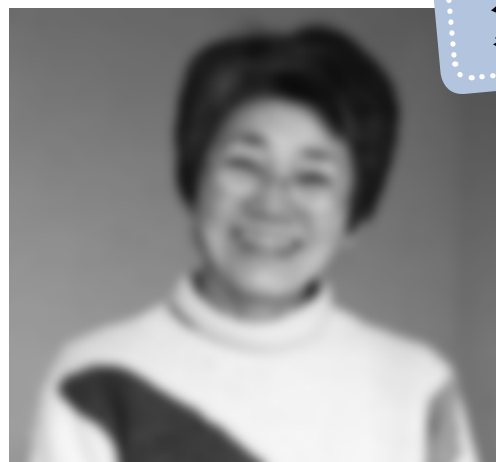
「学校とかかわるようになって、良かった点は？」

今を精いっぱい生きている子どもに会えることですね。目と目が合ってニコッとし合えた瞬間とか、お話をじつと聞いてくれている時とか。失敗ばかりでめったにありませんが、子どもの心にストーンと落ちる言葉がけのできた時は最高ですね。ボランティアの皆さんがよく「子どもから元気をもらっている」と言いますが、まさにその通りです。街中で「あっ、僕のこと分かる？」と話しかけてもらった時もうれしいですね。遠かった学校が近くなりました。

「子どもたちとかかわりたいけど、「特技がない」、「教えられるものがない」と考える人もいると思います。」

子どものところに「こんな楽しい思いをしていた」とか、仕事や生活の中で「こんなことを子どもたちに伝えていきたい」とか、皆さんが生きてこられた中に子どもとつながることがあると思います。それと、直接子どもたちに教えるようなものではなくても、登下校の見守りや、子どもたちのために草花の世話をするなど、教育現場を静かに支える取り組みも必要とされています。

ボランティア登録のお誘い



穂高北小学校・地域コーディネーター

内山房子さん (穂高有明)

ちの中に、少年期の良き思い出として残ると思います。私たちボランティアは1つの「点」でしかありませんが、その点が増えれば、子どもたちの住みやすい、育ちやすい地域になっていくと思います。

「最後に登録を検討している皆さんにメッセージを。」
先生と違う味を持った私たちが学校に入ること、子どもたちの人間関係は幅広くなると思います。そして、それが先生方の手助けとなるものであれば、学校のゆとりにもつながりますね。ボランティアとかかわった楽しい体験は、きっと子どもたち

特別な資格は必要ありません。気軽にご応募ください。

例えばこんな活動・・・

● 環境を支える！

花壇の水やりや草取り、落ち葉の掃除、植木のせん定など、学校の環境づくりをサポートします。子どもたちとの交流もあります。

● 安全を守る！

通学路での安全指導の声掛け、あいさつやパトロールなど、子どもたちの安全を守り、地域のコミュニケーションをはぐくんでいます。

● 特技・技能を生かす！

ミシンのサポートや英語の授業のサポート、部活動の補助など、職業や趣味での経験を生かし、子どもたちの体験の幅を広げます。

この他にも、さまざまな支援の仕方が考えられます。「あなたらしい」支え方が必ずあります。まずは、下記までご相談ください。個人情報責任を持って管理します。

市教育委員会学校教育課内
学校支援地域本部事務局

TEL 62・3001 FAX 62・5721